

# ご意見用紙

## 玄海原子力発電所に関する県民説明会

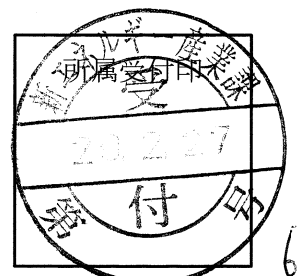
※この用紙は、記入後エントランスホールの回収箱にご投入ください。  
 ※本日、回収箱への投入が難しい場合は、裏面記載の県内各地に設置しています県政提案箱にご投函いただくことも可能です。

\* なお、ご記入の前に裏面の〈お願い〉をお読みください。

テーマ	★該当する項目をチェックしてください（複数選択可）。 <input type="checkbox"/> エネルギー政策に関すること <input checked="" type="checkbox"/> 原子力安全対策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力災害対策に関すること <input type="checkbox"/> その他
2017年2月27日に佐賀市文化会館で開催された説明会に於て、原	
子力規制 <del>委員</del> <sup>庁</sup> の説明の後、別紙の様な質問をしようとしたが、時	
間制約のため、質問の機会が与えられなかった。この別紙質問書	
を規制 <del>委員</del> <sup>庁</sup> メンバーに渡し、当日説明会終了時に回答をもらえな	
ばと思ったが、規制 <del>委員</del> <sup>庁</sup> メンバーは質疑を終了後はヤバヤと	
会場を去り、書面での回答も得られなかった。自分の担当が	
終、たらささと帰りのではなく、説明会終了まで残り	
っているのがあるべき姿である。非常に残念である。	
別紙に「質問要旨」を付す。	
（原子力規制庁メンバーに渡したかった）	

会場名に○をつけてください⇒

唐津 ・ 武雄 ・ **左賀** ・ 伊万里 ・ 鳥栖



62

## 玄海原発に関する県民説明会における質問要旨

(質問時間 1 分以内)

2017年2月27日(月) 18:30~21:00  
佐賀市文化会館大ホール

重大事故発生の評価に係る不確かさについて質問します。

5 ページにも「ゼロリスクは存在しない」と書かれているように、あらゆる評価には、不確かさが存在します。

17 ページの人為事象の中の航空機落下については、審査の概要案では、「航空機落下の確率は、3、4号炉とも1年に約 $0.6 \times 10^{-7}$ 回だから、基準の $1.0 \times 10^{-7}$ 回を超えないため、航空機落下については考慮する必要はない」と記されています。この点について以下の質問をします。

- 質問① 落下確率の評価の不確かさ(仮定やモデル、実験データやシミュレーションの不確かさなどから発生する系統誤差等を含む)はいくらか。
- 質問② この不確かさを前提にしたとき、評価した落下確率が基準値を超える割合は何%か。
- 質問③ 3、4号炉を一体と考えると、落下確率は、3、4号炉一体として $1.2 \times 10^{-7}$ 回となり、基準値の $1.0 \times 10^{-7}$ 回を超えることについてはどう考えるか。

基準に適合しているかどうかの質問ではなく、どのくらいリスクがあるか数値で示してください。